

## 光触媒(NFE2)の質問 2

- ① 2液ウレタン塗料など、常乾塗料での施工面(床、手摺、ドアノブ、エクステリア製品群、)に後から NFE2 を塗装し、長く効果を持たせたい場合の施工方法を教えていただけますでしょうか？

→塗布後にヒートガンか大型のヘアドライヤーで瞬間でも表面温度 150℃以上に加熱すると接着力と耐摩耗性が格段に向上します。床面は床用をそのまま塗布して常温で乾燥させるだけで耐摩耗性のある塗面が得られます。

- ② UV 塗装面にも、同上の確かな機能付与をいたしたい場合の施工方法を教えていただけますでしょうか？

→UV 塗装済のフローリング材に 1 を試したことがありますが大変うまくいきました。画像の右半分のように光触媒は親水性が最大の特長で、これがない光触媒製品はセルフクリーニングも殺菌機能もまるでないニセモノです。



- ③ 樹脂製(プラスチック面)の室内製品への機能付与の際、NFE2 を塗装することを想定いたす場合の施工法もお願いできますでしょうか？

→基本的には 1 に準じますが PP(ポリプロピレン)、シリコーン等の接着しにくい素材については別途プライマーをご用意します。

- ④ 全艶の面ですと、どれ位の艶低下や色合いの変化を想定できますでしょうか？

→光触媒は白色顔料でもありますので塗布後に多少の白濁と艶の低下は避けられません。だいたいの場合は需要家の許容範囲で、全体に塗布すれば分からなくなる場合が多いのですが平滑で濃色の基材へは事前の試験施工が無難です。

⑤ 塗膜の付着いたしてあります NFE2 が、室内ですと(人が触れる場所として)どれ位保持され維持されるか、大体の目安や付着膜の消失はどのようなメカニズムとなりますでしょうか？

→光触媒は消耗するものではなく、殺菌機能を担う銅・銀粉も室内環境では 10 年以上消費することはないと考えられますので寿命は「摩耗による剥離」がもっとも可能性の高い要因です。これは使用頻度により千差万別ですから保持期間としては断言しにくいのですが、たとえばエレベータや自動ドアのボタン等「押すだけで擦られる可能性の少ない部位」では 2 年以上の保持期間が期待できるというも思います。

